





えっ!?  
この机って

そう牧と  
前田さんの机だよ。  
二人の液で  
牧の机を孕ませよう

ばうん!

何いって  
はうっ!





グロッ

いや!、こんなに 入っちゃってる!

ほら、ものすごく入ってる ところ見て、いやらしい よだれ垂らして 俺のチンコ食べてるよ

ほら、ものすごく入ってる  
ところ見て、いやらしい  
よだれ垂らして  
俺のチンコ食べてるよ

グロッ  
グロッ

いや!、こんなに  
入っちゃってる!

[illegible]

あーやばいイキたくないのに前田さんの意地悪

はっ

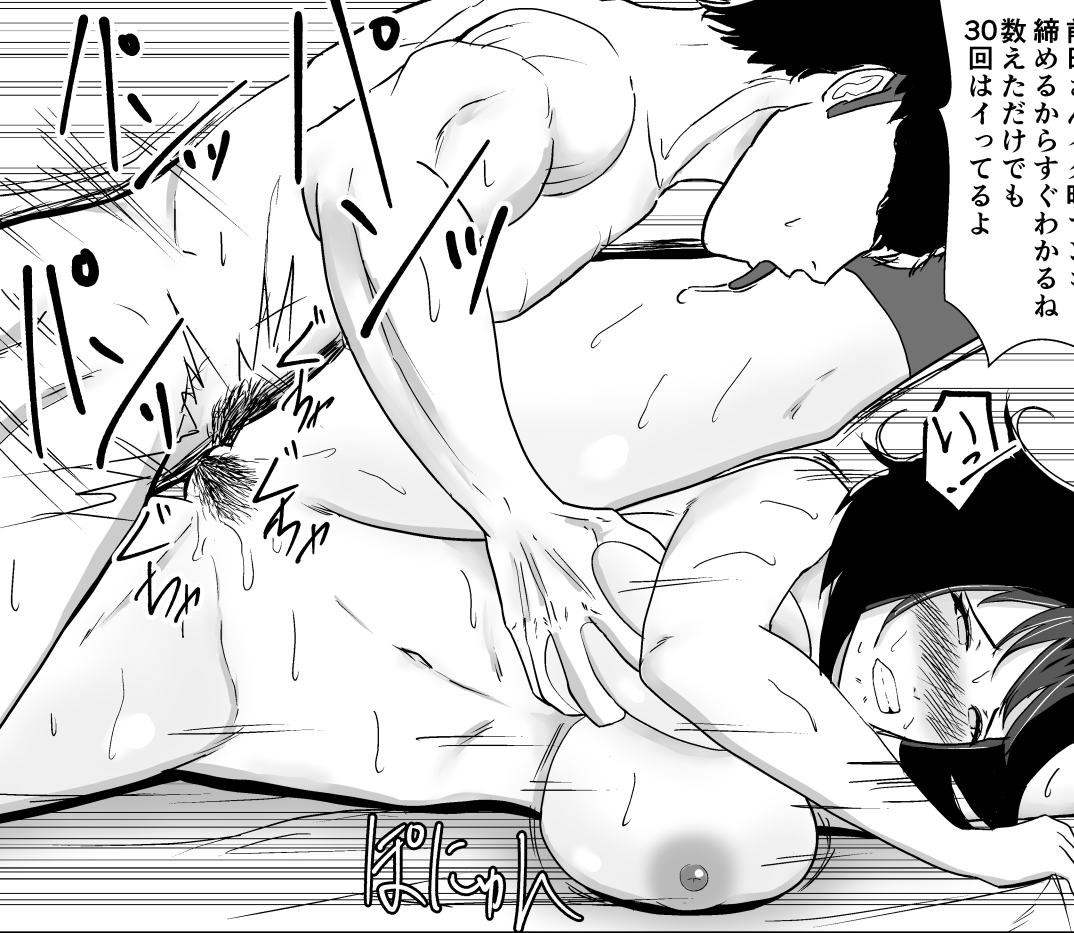
あっ

やめてください！  
これ以上出さないで！

ギッ

ギッ





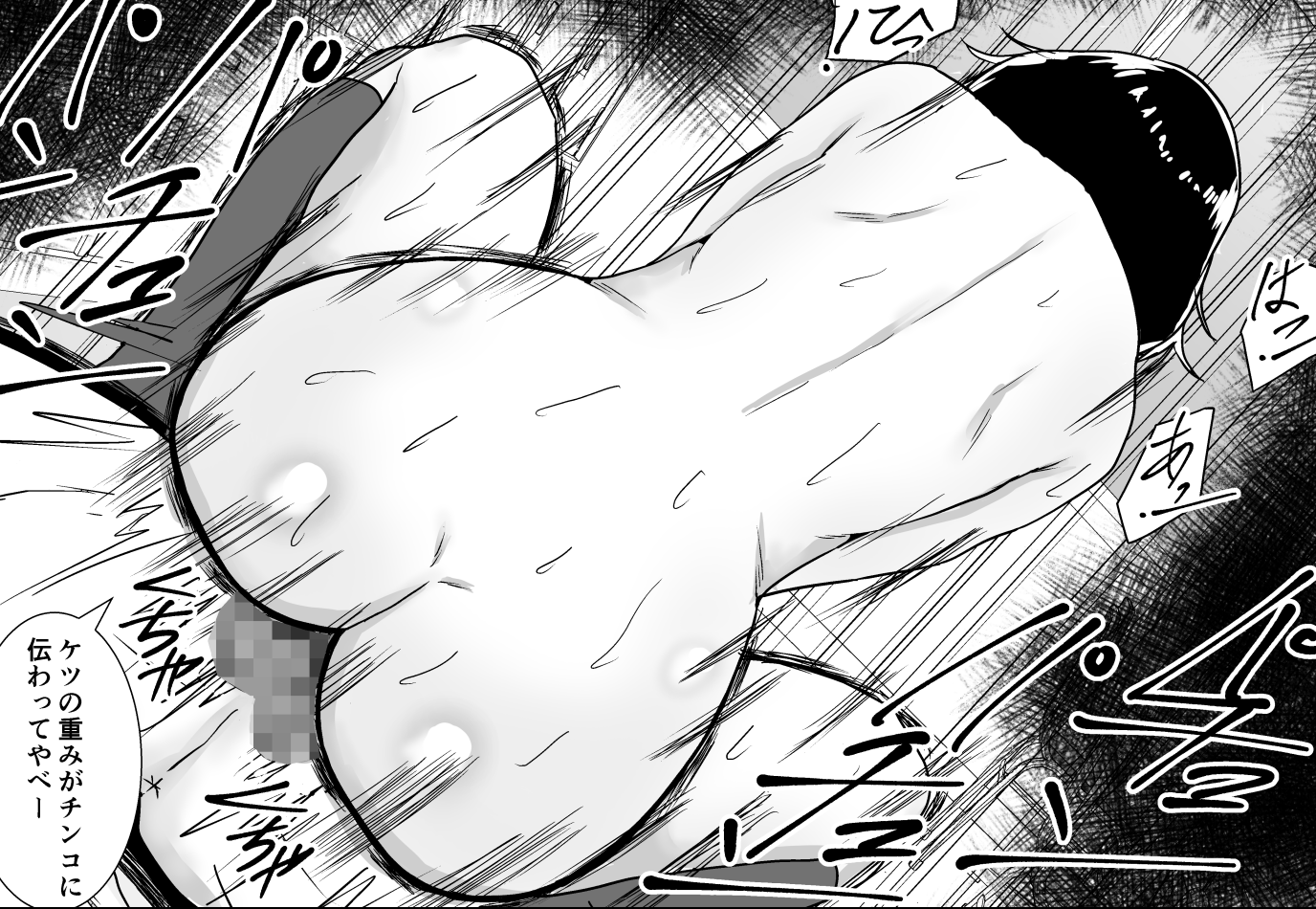
前田さんイク時マンコ  
締めるからすぐわかるね  
数えただけでも  
30回はイってるよ

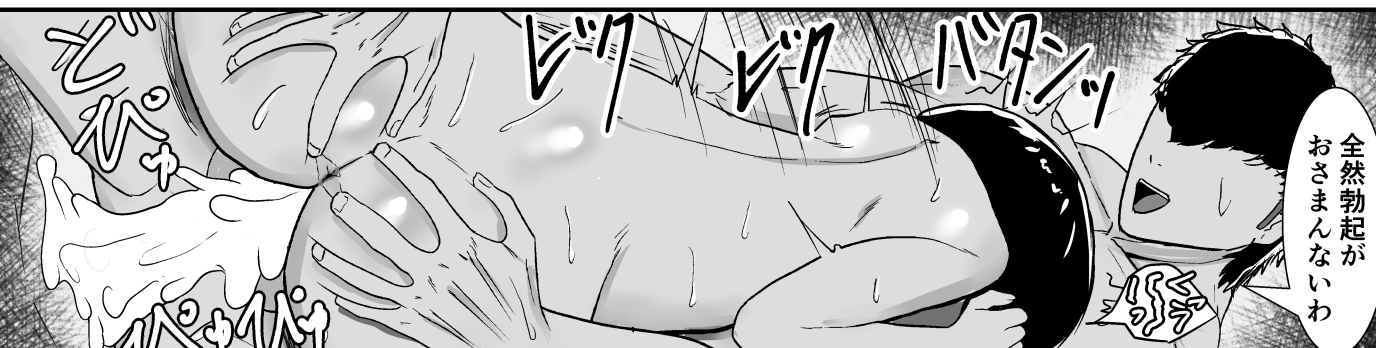


またまた  
無理しちゃって



イ…イってませんし  
感じてません！







腰が止まんねー！  
こんなに飽きない  
体初めてだよ！

おっ！  
終わって  
あっ！

それから  
彼は、あらゆる体位で、  
私を求めてきました。

びしょん



私は、彼の底知れぬ性欲に  
抵抗できず

今、自分から腰振って  
きたよね!?

ふっ  
振ってなんかっ!



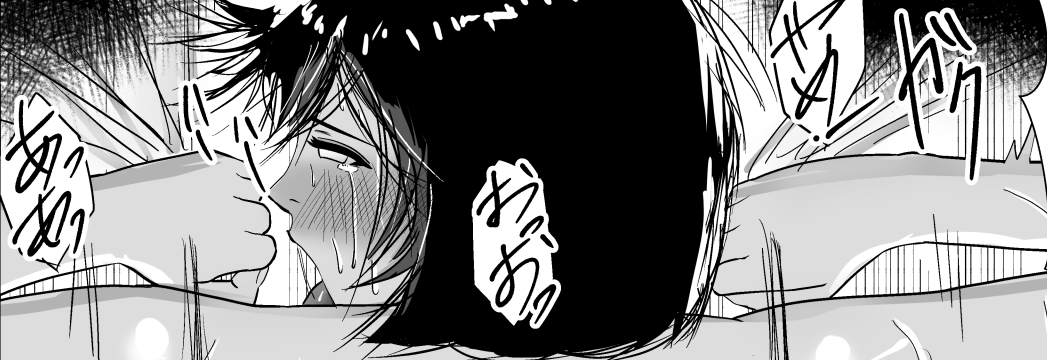
体を弄ばれ  
続けました

マン汁シャワー浴びてるね！  
すげー体液と混ざっていらしい  
匂いぶちまけて、  
前田さんってドスケベだね！

そっそんな  
なんっ！こっ  
あっ！あっ！



そっそんな！  
あっ！あっ！



休みなく続く行為の中、  
徐々に意識が飛ぶようになり  
ました



アナルがヒクヒクいって  
俺のチンコを歓迎してくれてるよ  
前田さんは、もう俺の体なしでは  
生きていけないね